

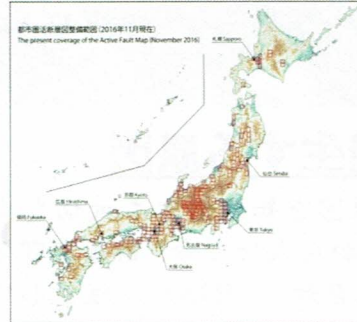
～地震への備えは万全ですか？～

1. 地震が発生する可能性の検証

地震は時節に関係なく発生する災害で、「いつ発生するのか」「どれくらいの規模なのか」等、予測することは非常に困難です。

しかし、地震の原因となりやすい「活断層」がお住まいの地域に有るか無いか、時代を遡って地震が発生しているかどうかなど、地震が発生する可能性を検証することは可能です。

インターネット上でも地震の発生確率などを載せたページ等もあり、多くの情報が錯綜し、整理しづらくなっていることも事実ですが、過去の発生事案や活断層の有無などは事実からそれ難い内容ですので、防災の観点から一度ご確認されてはいかがでしょうか。



出典：国土地理院ホームページ

インターネットで「活断層マップ」と検索すると、活断層図が公開されている地域が示された地図や活断層の有無が掲載された地図などが確認できます。

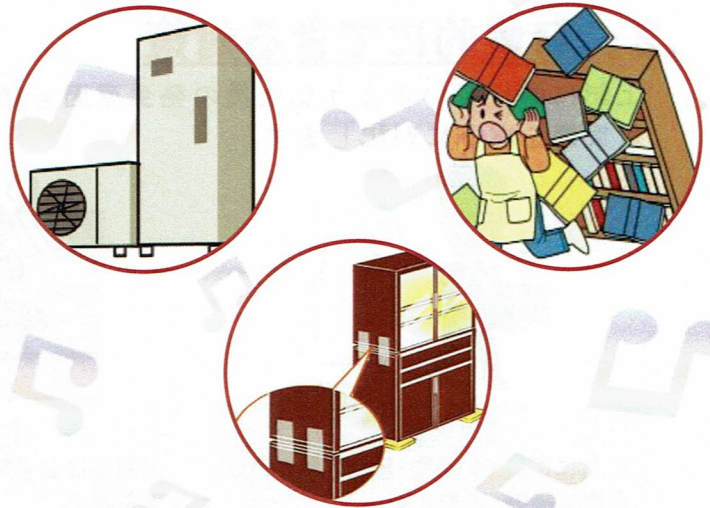
《地震の発生履歴について》

気象庁のホームページに「震度データベース検索」というコンテンツがあり、1923年まで遡って地震の発生状況を確認することが出来ます。

2. 転倒防止対策について

これまでも家具等の転倒防止策としてご案内を差し上げておりますが、家具以外にも電気給湯器のあるマンションでは、貯湯タンクなども地震の揺れの影響を受けやすい設備です。東日本大震災や熊本地震で貯湯タンクの転倒被害が出ておりますので、貯湯タンクが設置されている場合は取扱説明書等で固定方法などをご確認いただき、適切な方法で固定しましょう。

また、転倒と並んで危険なこととして、物の落下と飛来があります。積み重ねた家具などは上下で固定し、比較的軽量の書籍や食器等は飛び出さないように対策を施しましょう。



コミュニティワンからのお知らせ「門松設置のご提案」

例年多くの管理組合様よりご好評を賜っておりますマンションエントランス等への門松の設置について、今年も引き続きご提案申し上げます。弊社で販売しております門松は設置から撤去までの一切を原則管理組合様にお手間を取らせることなく行います。

また、門松のサイズは3尺（0.9m）からご用意致しておりますので、設置をご検討の際は、弊社営業担当者へご相談ください。営業担当者から改めてより詳細なご提案書を基にご説明をいたします。



《エントランスへの門松設置例》



コムワン だより

H28.11.10
№56

～防火のポイントと対策～

火災を予防するには、普段からの心がけに因るところも大きく、火災を起こさないためのポイントや対策をしっかりと押さえておくことが肝要です。

年中通して火災の発生リスクはございますが、今後は空気の乾燥により、一層火災の発生に気を付けなければならない時期です。

防火をお考えになる際の参考としてご一読ください。

1. 火災が発生する原因

火災が発生する原因を知ることも大切な火災予防の一つです。火災から大切な命、財産を守るためにも原因となる事象を知り、日頃から注意しておくことが大切です。

右図のように火災の発生原因は放火等の「外的要因」で発生するものと、「寝タバコ」や「コンロを使用中にその場を離れる」「火気の近くに燃えやすい物を置いている」等の「内的要因」で発生するものに大別できます。

内的要因は生活しているなかで無意識にしてしまう可能性がありますので、注意が必要です。



2. 日常的にできる対策

上記に挙げているような火災の発生原因を踏まえて、日常的に行うことができると思われる対策例を以下に列記します。



【放火対策】

外部に置いている物・放置されている物は移動・撤去する



【コンロ】

使用中は目を離さない、離れる際は火を消す



【タバコ】

灰皿に水を入れる、灰皿に吸い殻を溜めない、寝タバコ厳禁

※上記の他に電気関係が出火の原因となるケースもあります。「傷んだ配線の交換・修理を行う」「コンセントのホコリを小まめに拭き取る」などの対策が挙げられます。

3. 消火用具のご紹介

出火に気づいて消火器を取りに行っている間に火は大きくなり、自力で消火することが困難になる可能性が高くなります。宅内消火器を設置されている場合、このようなリスクも低減されますが、未設置の場合や消火器の使用に不安がある場合、右図の様な商品もございますので、万が一に備えて、ご購入を検討されてはいかがでしょうか。



《投てき型消火用具》

火元の床や壁に投げて容器内の消火薬剤で消火させる消火用具



《天ぷら油火災用消火用具》

天ぷら油で発火した鍋等に入れると内容物(消火剤)が油を泡状に変化させて消火する消火用具



CommunityOne